

胃カメラを受けられる患者様へ

あなたの検査日は、 月 日 () 時 分です。

以下の注意点を守ってご来院ください。

《検査前日： 月 日 ()》

- 夕食は、午後9時までに済ませていただき、**夜9時以降は何も食べないでください。**水分は、摂っていただいても構いません。

《検査当日： 月 日 ()》

- 検査当日の朝、水分を摂っていただいても構いませんが、お茶・お水などの色の無い飲み物を少量にしてください。牛乳やコーヒーは避けてください。
- 検査当日は**朝食を摂らずにお越しください。また、薬も飲まずに来院してください。**朝食を摂取、または薬を飲んでしまうと胃の粘膜の観察が十分に行えない為、お気を付けください。

※定期的に飲まれているお薬がありましたら、早めにお知らせください。

※血液が固まりにくくなるお薬を飲まれている方は、胃がん検診（胃内視鏡検査）を受けることができませんので注意ください。

医療法人 木端会
きはしクリニック
医師 木全 崇之

上部消化管内視鏡検査に関する説明書

ID：	お名前：
目的・方法 経口的・経鼻的に内視鏡を食道・胃・十二指腸に挿入し、同部を直接内視鏡で観察し、病気を見つけ適切な治療を考えるために行います。	
手順 1) 胃の中を見やすくするためのお薬を飲んでいただきます。次に、検査しやすいようにのどの麻酔をします。続いて、胃の動きを止める鎮痙薬を注射します。その際、 緑内障・前立腺肥大・狭心症のある方は使用する薬が異なるので担当医にお伝えください。 2) ベッドに横になった状態で内視鏡を口または鼻から挿入し、観察します。検査時間は通常 10～20 分程度ですが、延長することもあります。 3) 病状によってさらに下記のような検査を行います。 ①病変を見やすくするため、色素を粘膜に散布することがあります。 ②組織診断のために、組織を採取する生検を行うことがあります。 その際の検査代金は、 <u>保険診療となりますので検査当日は保険証又はマイナンバーカードをお持ちください。</u> ③患者さんが希望される場合は、鎮静薬を注射することがあります。	
医療行為に伴う危険性や合併症 ・内視鏡の挿入に伴う鼻出血(経鼻の場合)、咽頭部の裂傷や消化管の穿孔が稀に起こり(消化管の穿孔：0.0018%、100 万人に 18 人)この際は、緊急手術になる場合もあります。 また、検査中のいきみ(食いしばり)により歯や義歯(被せもの、詰めもの等含む)が逸脱したり、破損したり、嘔吐反射による粘膜の損傷及び出血などが起こることがあります。 ・生検を行った場合、生検部位から出血することがありますが(出血：0.0015%、100 万人に 15 人)、保存的治療により軽快する場合はほとんどです。 ・体質により検査前、検査中に使用のお薬によるアレルギー反応などを起こす場合があります。	
鎮静剤の使用について 当院では、内視鏡検査を施行する際の苦痛を和らげるため、検査前に鎮静剤の投与をすることを患者さんの希望に応じて行っていますが 胃がん検診(胃内視鏡検査)では使用ができません。	
胃がん検診(胃内視鏡検査)の当時の持ち物 ・保険証またはマイナンバーカード、資格確認書 ・胃がん検診(内視鏡検査)の受診券 ・一宮市胃がん検診(胃内視鏡検査)問診票 ・一宮市胃がん検診(胃内視鏡検査)同意書 ・お薬手帳	